

平成 11 年度

予 算 概 算 要 求

平成 10 年 7 月 14 日

日 本 原 子 力 研 究 所

目 次

[Ⅰ] 平成11年度事業の基本的考え方	1
[Ⅱ] 事業の概要	2
1. 科学技術の総合的發展に貢献する先端的研究	2
1. 1 中性子科学	2
1. 2 光量子・放射光科学	4
1. 3 放射線利用研究	7
1. 4 環境科学研究	9
1. 5 先端基礎研究	11
1. 6 高度計算科学	13
2. 先導的な原子力の研究開発	15
2. 1 核融合研究開発	15
2. 2 原子炉システムの開発	18
(1) 高温ガス炉 — 多目的核熱利用 —	18
(2) 将来型エネルギーシステムの開発	20
2. 3 安全性研究	22
2. 4 物質科学研究	24
3. 大型施設の活用と研究支援	26
(1) 大型施設の活用	26
(2) 研究支援	28
4. 研究開発の効率的推進	30
(1) 研究協力、研究評価	30
(2) 国際貢献	32
(3) 原子力施設の安全確保	34
[Ⅲ] 予算要求総括表	36
[Ⅳ] 組織・定員要求	39

[1] 平成 11 年度事業の基本的考え方

基本方針

- ・国の定める「原子力の研究、開発と利用に関する長期計画」及び「原子力の開発及び利用に関する基本計画」に沿い、科学技術の総合的发展に貢献する先端的研究開発と可能性を開拓する先導的な原子力研究開発を進める。
- ・このため、最先端の研究施設を基盤とした強力な研究展開を行うとともに、研究施設の国内外研究者への開放、大学等との研究協力、国内外の人材の活用を推進する。
- ・研究開発課題や組織の改廃、研究資源の効率的・重点的活用等を一層進めるとともに、安全確保の強化、放射性廃棄物処理処分の技術開発を推進する。

事業の概要

- ・科学技術の総合的发展に貢献する先端的研究開発
 - －中性子科学、光量子・放射光科学、放射線利用研究、環境科学研究、先端基礎研究、高度計算科学
- ・先導的な原子力研究開発
 - －核融合研究開発、原子炉システムの開発（高温ガス炉、将来型エネルギーシステムの開発）、安全性研究、物質科学研究
- ・新しい研究体制の構築、国内外への積極的貢献、安全確保等
 - －研究課題・組織の改変、研究協力、国内外の人材活用、国際貢献、施設の安全確保等

今回の会議にて配布した資料は多量な資料の為、入手を希望される方は下記2機関において閲覧・複写（有料）に応じております。

- ・原子力公開資料センター（東京都文京区白山5－1－3－101）
TEL 03（5804）8484 東京富山会館ビル6F
土・日・祝日、10／1日は休館
- ・未来科学技術館（東京都新宿区西新宿）
TEL 03（3340）1821 新宿三井ビル1F
第2・第4火曜日は休館